

当院における口腔ケアに関する後方視的検討

市立福知山市民病院では、入院患者様における入院時の口腔内評価及び口腔ケアに関する後ろ向き調査に関する研究を実施いたします。そのため、過去に当院で入院され、看護師あるいは歯科医により口腔ケアを受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。実施にあたり市立福知山市民病院倫理委員会の承認を受けています。

・研究の目的

これまで口腔ケアとは口腔内の保清のことでしたが、最近になり喫食できる口腔機能の回復や、誤嚥性肺炎の予防など、全身に与える影響が考慮されるようになりました。口腔ケアは一般的に歯科医が中心となって行われていますが、歯科の無い当院では2012年より丹波歯科医師会と協働し、院内の口腔ケア活動を開始しました。

現在は入院時に看護師にて口腔アセスメントガイド(OAG)評価を実施しております。さらにNSTチームの看護師による口腔ラウンドを実施し、歯科医の専門的な指導が必要な患者様の抽出、適切な口腔ケア技術の伝達、患者様状況の正確な把握と歯科医への伝達ができるように活動しています。

以上のような活動が入院患者の口腔ケアにどのような影響があるか、入院時及び口腔ケア後のOAG評価の推移、歯科医介入件数、入院期間、食事内容等を検討し、現在の口腔ケア活動が効果的であるか検討したいと考えています。

・研究の方法

対象となる方について

2018年4月1日から2019年9月30日までの期間に市立福知山市民病院にて入院治療を行なった患者様のうち、入院中口腔ケアを看護師あるいは歯科医にて施行した患者様が対象となります。

研究期間：市立福知山市民病院倫理委員会承認後～2021年3月31日までの期間

方法

カルテ上の記録を調べ、性別、年齢などの臨床情報、治療経過などを集計し、口腔ケアが入院期間に及ぼす影響について調べます。

研究に用いる試料・情報について

情報：性別、年齢、身体情報(身長、体重、PSなど)、病歴、治療歴、併存症、既往歴、嗜好歴、血液検査(血算、生化学など)、OAGスコア、入院日数、食事内容など

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの血液や画像、測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者(市立福知山市民病院 NST/看護部 副看護師長 塩見里美)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・研究組織

市立福知山市民病院 NST/看護部 副看護師長 塩見里美

・お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が学会や論文などで公表されている場合など、廃棄することができない場合があります。

連絡先

市立福知山市民病院 NST/看護部
職・氏名 副看護師長・塩見里美

電話:平日 9:00-17:00 0773-22-2101